

# 感じたのは、“ほんわかした温かみ”—— そのとおりのおうちでした

お仕事の拡大とお子さんのご結婚を機に、新築を考え始めたMさん。  
「とにかく、すべてと言っていいほどのハウスメーカーや地元の工務店を見に行きましたね」と奥さんが言います。  
当初、ご主人はログハウスのような木の家、  
奥さんとは言うともスタイリッシュでモダンな家をイメージしていたそうです。  
そこから無添加住宅にたどり着くまでにどのようなエピソードがあったのでしょうか。



玄関ホールテーマは“マリン”。  
でも、「サーフィンはしたことないんですよ…(笑)」とご主人



リビングで圧倒的な存在感を主張する薪ストーブ。  
温かさもさることながら、オブジェとしても空間の演出に一役買っています



キッチンの天然御影石天板をテーブルにして食事をするそうです。これこそまさにダイニングキッチンですね。  
「お料理も出しやすいし、片付けもカンタンで重宝しています」と奥さん。



右/天然石のコーディネートでクオリティの高い玄関周り  
中/「軒下を利用したいってお願いしたら、こんなに立派な軒先になりました(笑)」と奥さん。アウトドア感覚でバーベキューも出来るスペースです  
左/おうちでオープンカフェの雰囲気味わえます



突き出した煙突がオブジェのよう

時間は必要なかったそうです。  
完成したMさんのおうちは、オレンジの屋根が印象的な平屋。「広い玄関ホールが夢だったんです」とのご主人の言葉どおり、余裕のある空間となっています。リビングの中心には薪ストーブ。北国にはマストアイテムですが、その柔らかな自然なぬくもりに幸せを感じているようです。キッチンが厨房と言ってもいいほどのスペースがあり、「食事もここでするんですよ」と天然御影石のワークトップをダイニングテーブルとして使っているとのこと。  
最後に話してくれたのは、「家ももちろんですけど、営業の方の対応が素晴らしいかったです。特にプロの視点で、ここはこうするべきです!」と言ってくれた時は頼もしさを感じました」ということ。人と家への信頼が幸せな暮らしの理由だったんですね。



モデルハウスのイメージで設計されたのが良く分かる外観です。

家づくりでご夫婦のイメージが違うのはよくあるお話。住宅展示場に行ってもなかなかモチベーションが上がらなかったそうです。そんな時、たまたま通りがかったモデルハウス。ご主人「おおっ、カ、カッコいい!」、奥さん「あつ、ステキ!」と初めてと言っていいほど、ふたりの思いがひとつになった瞬間がありました。そう、そこは日野建ホームのモデルハウスだったのです。  
「無添加住宅って知らなかったんですけど、なぜ無添加なのかはすぐに分かりました。他社のモデルハウスだと主人が必ず咳き込んでいたんですけど、それがまったく無かったです!これにはビックリしましたね」と少し興奮気味に話してくれました。こうなるのも、決まるのに



上/無添加住宅のオリジナル漆喰がもたらすのはピュな空気感だけでなく、こんな演出も!  
 下/コーラルストーンキッチンの横壁。アーチ状にくり貫かれていますが、これはご主人のアイデア。「孫が遊びに来た時も、キッチンからその様子が見れるようにしたかったんです」との思いを語ってくれました



上/「この床がほんのりと温かいんですよ。だから冬でも裸足なんです」と奥さん。ご主人は「漆喰って思った以上にいいですね。空気が気持ちいいっていうか、深呼吸するだけで健康になれる気がして…」と、他の住宅会社を見て回った時に咳き込んだことを思い出しているようでした  
 下/マスターベッドルームは下がり天井仕様。間接照明がムーディーです



右上/勾配天井だからこの開放感が生み出せます。見せ梁が頼もしさを感じさせてくれます  
 左上/これぞ、「うちカフェ」。天井が寝室とシンクロしてます  
 右下/大きな開口部から見える景色も M さんのこだわりのひとつ。  
 お友だちから「お料理しながら外を眺められるって最高ね!」と言われるそうです  
 左下/ここは PC コーナー。天然無垢材の造り付け棚なので雰囲気ビッパリですね

オシャレなバーの趣があります。最高の「うち時間」が過ごせそうですね



右/リゾートのペンションにあるサンタリーのよう。ここから朝が始まるって最高ですね  
 中/こちらは勝手口側の手洗い。洗面所のタイルとのトータルコーディネートが効いています  
 左/息子さんのマイルーム。今やスニーカーも雑貨のよう!